

あしっ 育成だより

27

立教 188年 1月 23日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

- 特集
- ① 青年会ひのきしん隊70周年
 - ② 家族ぐるみでひのきしん
 - ③ 春の育成期間 あしっスプリングフェスタ



《親のことば》

お道の青年にとって、伏せ込むということは、親神様から頂いている限りないご守護を感じ取ることができるよう、日ごろから喜びの元となるものを探すことに努めるとともに、そこから生まれる感謝の心を込めた教理の実践に地道に努める姿を、親神様に受け取っていただくことが大切であります。その積み重ねが、伏せ込みとなるのであります。

(立教 187年 第98回青年会総会真柱様メッセージより)

①青年会ひのきしん隊70周年

ひのきしん隊は若者が成長する場所

節目の年に多くの若者・ 家族がおちばで伏せ込む



昨年（立教187年）、おやさとふしん青年会ひのきしん隊は、結成70周年を迎えました。ひのきしん隊は、おやさとやかたの建設に若い力を結集しようと、昭和29年1月に結成され、以来、若者にとってのおちばへの伏せ込みの場、修練道場としての役割を果たしています。青年会芦津分会（井筒敏成委員長）は、9月2日から21日までを分会の入隊月として、総勢105名（会員74名、OB他31名）がおちばで伏せ込み、ひのきしんに励みました。また、9月16日には「家族入隊日」が設けられ、学生会や、夫婦・子供連れなど家族が揃って入隊しました。

昨年、ひのきしん隊が結成70周年を迎えました。この節目の年に、青年会員はじめ多くの方が入隊し、おちばで伏せ込んでいただきたいと、芦津分会は会員70名を目標に動員に力を入れ、声掛けに励みました。その中、7、8月には常任委員が会員宅訪問で直接声を掛け、入隊を促し機運を高めていきました。また常任委員が期間を通して分散して入隊し、会員がいつでも入隊できるよう、受け入れ体制を整えました。

井筒敏成委員長は、自身が青年会ひのきしん隊副班長を務められる中、『真明 第649号』・ひのきしん隊結成70周年における特別企画の対談の中で、「三代真柱様が、『おちばでの伏せ込みを



通して心のふしんをする』とよく仰せくださったのですが、青年会ひのきしん隊はまさに、『心のふしん』『心の成人』をする場所。」と、ひのきしん隊を通してのおちばでの伏せ込みの大切さを語られ、さらに「ひのきしん隊では人との繋がりができる。他分会との繋がりも含め、芦津の中でも深め合って、いろいろなことを話せる機会にしたい。大教会の仲間として、将来を見据えた人間関係をもっと深めて、築いていきたい」と、思いを話しました。

そうした上から、未入隊の会員はじめ大勢の方への働きかけを行い、その結果、未信者の方を含め、これまで未入隊だった会員が46名入隊しました。

入隊月であった9月の主な作業現場は、境内地の清掃や整備作業、西駐車場付近の整地、本部中庭で使用するパイプ椅子のペンキ塗り、神饌物を栽培している大裏での農作業など多岐にわたり、残暑の厳しい中、入隊者はおちばで伏せ込みの汗を流しました。

9月16日は家族入隊日として夫婦や子供連れ、また学生会が参拝デーに合わせて入隊するなど、日頃の御守護に感謝を込めて、大勢がひのきしんに勤しみました。

さらには「結成70周年 Flat入隊!」という同世代や同じ立場の者が、短期間で気軽に入

隊できるような受け入れ体制も設けられました。

初入隊となった、ある青年会員は、「親里各所でいろいろなひのきしんがあり、たくさんの芦津の人と知り合えて楽しかったです。ひのきしん隊を身近に感じることができました。来年も入隊したいです」と笑顔で話してくれました。

井筒委員長は、分会の入隊を振り返り、「たくさんの方々のおかげで目標の70名を達成することができました。OBの方々にもご協力いただき、ありがとうございました。これを吉祥に、教祖百四十年祭に向けて、青年会活動をより活発にしていきたい」と語りました。



●家族入隊日

青年会ひのきしん隊では、毎年1度、各分会に「家族入隊日」が割り当てられています。普段ひのきしん隊に入隊できない女性や、まだ青年会員の年齢に達していない少年会員らが入隊できる日で、夫婦や子供連れなど家族が揃っておちばでひのきしんに励む姿が見られます。

芦津分会は、9月16日が家族入隊日でした。今回は青年会員の家族だけでなく、学生会が月に一度実施している「学生参拝デー」をこの日に合わせ、多くの高校生・大学生が入隊しました。

この日の作業内容は、青年会員は神殿周辺の清掃・整備作業。初めて着るひのきしん隊服に身を包んだ男子学生たちは、元気に行進しながらひのきしん現場へと出動しました。一方、女性や少年会員などの家族入隊者は、7、8、9母屋での清掃作業。きめ細やかな心遣いで室内をきれいにしました。



②家族ぐるみでひのきしん

家族ぐるみで 大教会で 詰所でひのきしん

11/30 あしつファミリーひのきしん

11月30日、育成部（山田道弘部長）は、大教会で下半期の「あしつファミリーひのきしん」を開催。大教会の年祭活動の方針にある「ひのきしんと伏せ込み」に、家族で大教会に伏せ込み、旬の理づくりをさせていただこうと、大人13名、子供20名が参加しました。

午前10時30分、お願いづとめ終了後よりひのきしん開始。参加者は信者会館4階の内外の窓拭き、廊下掃除、除草と各所に分かれ、終始和やかな



かな雰囲気でのひのきしんに汗を流し、終了後は大教会のお下がりが配られ、参加者からは、「家族で賑やかにひのきしんができ、子供たちも、大勢いたので楽しんでいました。」といった声が聞かれました。

年祭活動3年目は、ちばへの伏せ込みをご提唱いただいています。今年は毎月26日の「おやさと伏せ込みひのきしん」に信者さんや家族と共に、おちばで伏せ込みの汗を流しましょう。



12/27 詰所餅つきひのきしん

12月27日、詰所で餅つきひのきしんが行われ、婦人会、女子青年、青年会のほか、学生会や少年会員など、大勢のひのきしん者が参加しました。

今年も前日から多くの家族が、詰所に宿泊。午前8時より、威勢のいい賑やかな掛け声の中、一

つが1斗の大きさの鏡餅を17個つきあげ、ご本部にお供えさせていただきました。



正月三が日にお供えされた鏡餅は細かく切り分けられ、1月5日からの「お節会」でお雑煮として、帰参した信者に振る舞われました。



HAPPY徒歩団参

3/27 (木)

対象：中学生～25歳までの若者

参加費：300円

持ち物：歩きやすい服装、履きなれた靴

※お茶、食事、タオルは用意します。



春の学生おぢばがえり

3/28 (金)

対象：中学3年生～大学生、大学院生、専門学校生

内容：本部式典参加、直属アワー、別席（希望者のみ）

※昼食は用意します。



わかぎの集い

3/29～30
(土) (日)

対象：わかぎ（所属教会に繋がる中学生）

場所：芦津大教会

内容：おつとめ練習、お楽しみ行事、会食ほか

持ち物：ハッピー、洗面具、着替え、筆記具、保険証、履きなれた靴、おつとめ用の肌着、足袋（白靴下）

申込み：「参加申込・同意書」を大教会へ



第53回少年会総会

3/30 (日)

対象：少年会員

場所：芦津大教会

内容：おつとめ（六下り目まで）、総会式典、成人門出式
お供え作品展、お楽しみ行事



立教
188年

学生生徒修養会 参加者募集

大学の部

3/4(火)-**8**(土) (4泊5日)

参加費：10,000円 定員：700名

高校卒業生コース

3/10(月)-**12**(水) (2泊3日)

参加費：5,000円 定員：400名



○申込期間 12/25 ~ 2/15

願書に必要事項を記入して、芦津学生担当委員会（木村・奥田）までご提出ください。

※願書は詰所・大教会の事務所にあります。

- ① 青年会ひのきしん隊70周年
- ② 家族ぐるみでひのきしん
- ③ 春の育成期間 あしつスプリングフェスタ

あしつ **育成だより** 27

立教 188年 1月 23日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部